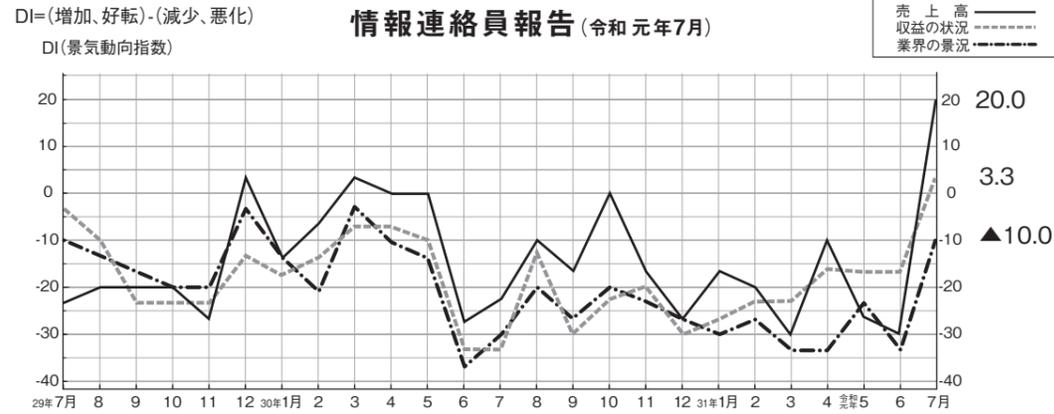


情報連絡員報告を中心とした 県内各業界の動向

2019年7月 (前年同月比)



業界の状況 | ☀️...好転 ☁️...やや好転 ☁️...不変 ☔️...やや悪化 ☔️...悪化

<p>食品団地</p> <p>7月度商況は、昨年度並みであった。8月のお盆商戦に向けて、在庫の上積み生産が7月中旬から始まった。夏期アルバイトの確保は厳しく人手不足が見受けられている。</p>	<p>生コンクリート製造</p> <p>当月はやや上向いたものの、地域差が大きく、今後、全体としては弱含みで推移するだろう。前年同月比131%。</p>
<p>酒類製造</p> <p>前年度が大きく落ち込んだ状態であったので前年対比としては増加しているが、依然厳しい状況である。</p>	<p>コンクリート製品</p> <p>出荷数量は前年同月比135%。市況は、減少傾向が続いていたが、5月分の出荷から西日本豪雨による災害復旧工事の発注により増加に転じ、7月分も継続している。</p>
<p>テントシート</p> <p>各種材料費の値上がりに伴う在庫数量も通常年度の環境に戻った状況である。原材料の値上げが、販売価格に上手く転嫁できていない状況にあると思われる。</p>	<p>機械団地</p> <p>製品の規格改定を見越した駆け込み需要などで業績を伸ばす企業が一部にみられるが、団地内の業況は概ね横ばいで推移している。</p>
<p>木製品素材生産</p> <p>搬入量は、スギ・ヒノキともに1~2割程度の増。量は増加したが時期的に悪く、価格は、スギ・ヒノキ共に1,000~1,500円/m程度下落。</p>	<p>刃物製造</p> <p>当組合では売上金額も上昇しているが、全体的にみると、価格の上昇に伴うものと、小売業者に供給する卸問屋等の減少に伴い、注文が集まっているのではないかとと思われる。ただ即供給できないのが問題で商売が難しい。</p>
<p>製材</p> <p>価格等市場も大きな変化無く、現状維持の状態が続いている。</p>	<p>船舶製造</p> <p>引き続き高い操業度で推移している。</p>
<p>製紙(家庭紙)</p> <p>ティッシュ、トイレトペーパーの店頭販売価格は、上昇傾向にある。高付加価値商品に特化する県内家庭紙業界にとっては汎用品の値上がりに期待するところが大きい。</p>	<p>珊瑚装飾品製造</p> <p>7月度製品会取引高は、前年度同月比63%であった。製品会取引高は減少が続いている。地方の大手デパートとの取引が低迷しているようである。</p>
<p>印刷</p> <p>県内需要の官公需は低調、民需は微減か。県外需要は業界にもよりますがまずまずに推移。前月に引き続き参議院選挙特需で前年並みを保った。</p>	<p>卸団地</p> <p>全国チェーンの量販店において、一部認められていた地方中小食品会社の各店配送だが、最近センター配送の強制利用を要請されるようになってきた為、県内小口配送の打ち切りが増える状況にある。</p>

<p>青果卸売</p> <p>昨年は台風等の影響によりキロ単価が高値であったため、今年度は野菜の売上高は約10%位減少している。県外出荷は好調の為、今後の販売価格の上昇を期待している。</p>	<p>商店街(四万十市)</p> <p>夏休みに入り、県外ナンバーの車が増えている。7月は土曜夜市が開催され、雨天中止となる商店街もあったが賑わいをみせた。27日には市民祭りが開催され、各商店街の提灯台が練り歩くなど盛り上がった。</p>
<p>生鮮魚介卸売</p> <p>マグロは輸入物が少なく、宮崎・鹿児島・沖縄等の入荷があり、順調に推移した。カツオは、東(千葉・宮城等)、西(長崎・鹿児島・宮崎等)での入荷が順調。小物(シイラ等)は例年並みに入荷があった。</p>	<p>旅館・ホテル</p> <p>天候の影響もなく業績は好転した。後半はスポーツ関係の合宿や大会があり、稼働に貢献した。</p>
<p>各種小売(土佐市)</p> <p>近年、新規加盟店がなかなか入らず減少傾向の中、新しく薬局ができて加盟店となった。8月は土佐市の大きな2大祭りがあるので、たくさんのお客様に来てもらいたい。</p>	<p>飲食店</p> <p>豪雨災害のあった去年より、天候に恵まれ客足も良く前年度比で景況は好転した。集客が悪かった前月比でも本月は好転しているが、比較対象のベースは低く、7月の景況判断としては「例年通り」程度が妥当。</p>
<p>ガソリンスタンド</p> <p>原油価格は中国経済の減速、米国ガソリン需要等が下落要因。OPEC協調減産延長、中東の地政学リスクが上昇要因となり、元売り仕切り価格は4週にわたり上げ下げが繰り返されたが、高知県の市況は変化なし。</p>	<p>旅行業</p> <p>組合クーポン売上前年同月対比107%、全旅クーポンを加味して103%。先月に引き続き、「組合クーポン利用キャンペーン」を実施している成果が表れている。3か月間の実施期間を鑑みて、再度実施も検討予定。</p>
<p>電気機械器具小売</p> <p>全体で前年比103%、エアコンは104%で好調。テレビ前年比98%、冷蔵庫101%。</p>	<p>一般土木建築工事</p> <p>公共土木用生コン出荷量は、前月比113.7%、前年同月比158.9%。H31/4~R1/7累計は前年同月累計比118.4%の水準。7月の公共工事請負金額は前年同月比で177.6%、前年対比累計では147.5%。</p>
<p>中古自動車小売</p> <p>業界全体の台数の不足により、展示車両の仕入れが厳しく、相場も高くなっている。</p>	<p>電気工事</p> <p>組合員の施工する電力引込線関連の工事は、前年同月比108%となった。香長地区の伸びが大きい。</p>
<p>商店街(安芸市)</p> <p>空店舗を活用したコミュニティ施設「満子の部屋」でギターコンサートを行った。昨年に続き今年も好評だった。毎年の恒例行事になりつつある。</p>	<p>一般貨物自動車運送</p> <p>燃料価格は落ち着いているが、繁忙期を過ぎても人手不足の影響は大きく、組合員企業を圧迫している。</p>
<p>商店街(高知市)</p> <p>中央公園地下駐車場利用状況(前年比)売上:99.6% 台数:98.6%。今年の土曜夜市は、怪しい天候でも多くの人出に賑わった。キャッシュレス化や軽減税率の複雑さ、小売店にとって悩ましい秋となりそうだ。</p>	<p>タクシー</p> <p>実働1日1車当りの前年同月比営業収入:99.8%、輸送回数96.9%。当月の実働率は66.1%。運転者不足がいよいよ深刻になっている。車はあっても運転者が不足しているので実働率は低くなっている。</p>

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company

東京海上日動

